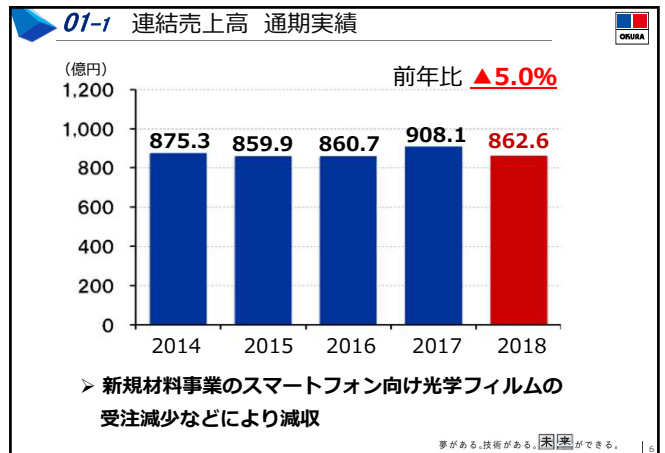
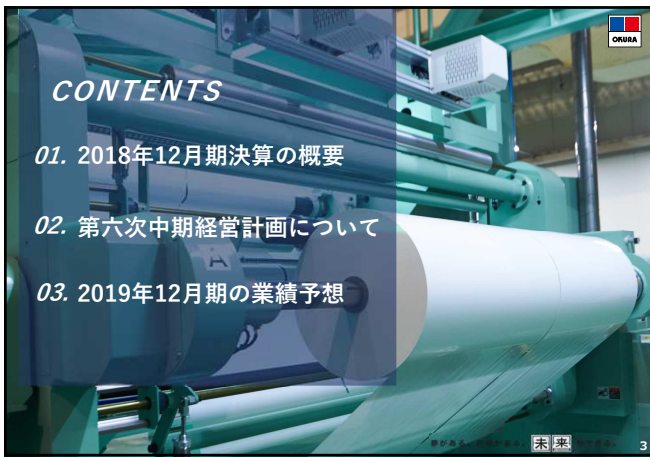


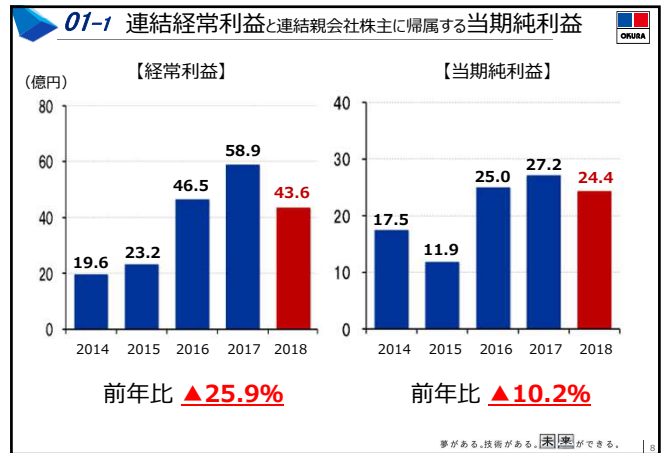
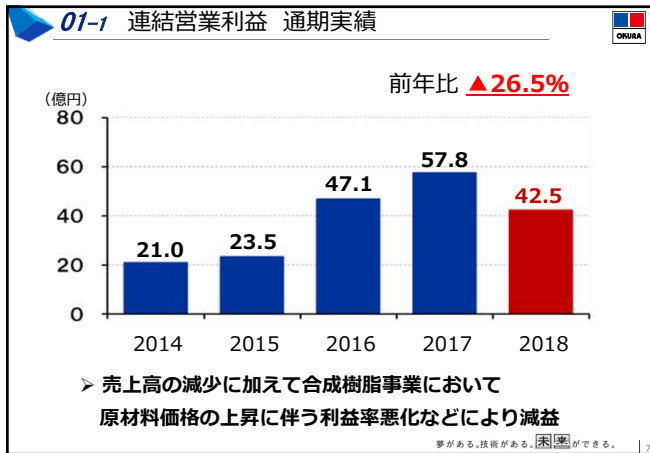


00-1 当社の概要

社名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co.,Ltd.
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地
代表者	代表取締役社長 神田 進
設立	1947年7月11日
資本金	86億1千9百万円
発行済株式数	12,414,870株
従業員数	2,053名 (連結子会社12社含む)

【2018年12月末現在】
夢がある。技術がある。困難ができる。



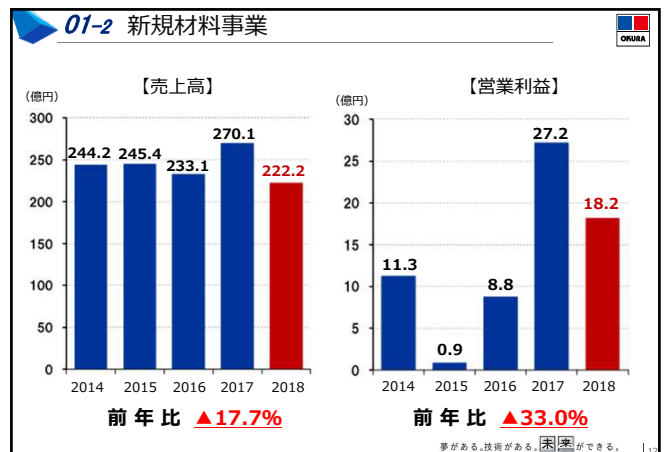
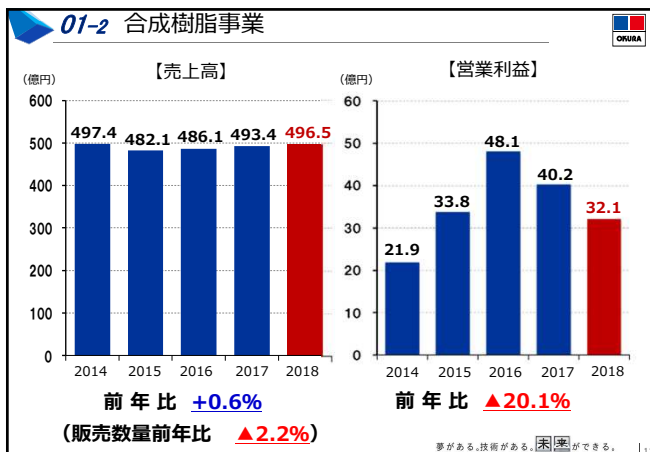


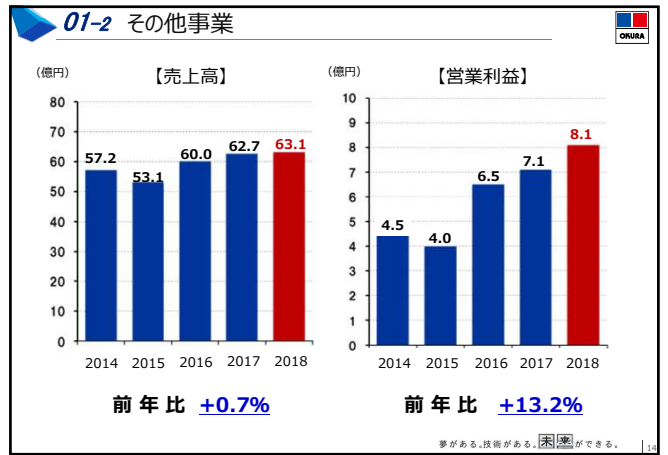
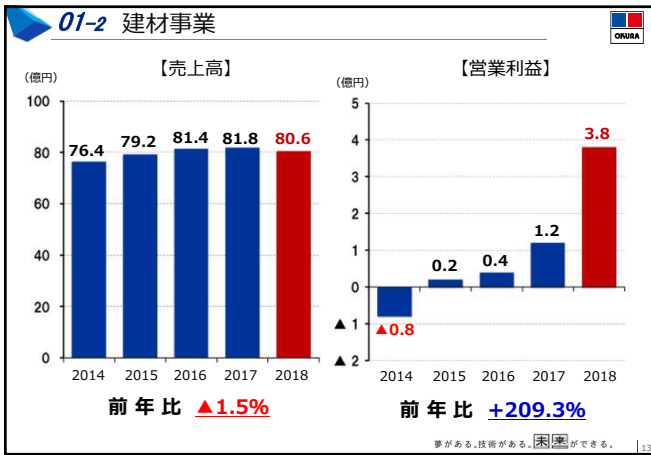
01-1 特別損益

【特別損益の主な内容】 (億円)

科目	金額	内容
投資有価証券売却益	+1.4	
固定資産除売却損	▲1.8	既存設備の撤去等
減損損失	▲7.9	合成樹脂事業 製造設備等
事業整理損	▲0.8	建材事業 南洋材合板化粧板事業の撤退
特別退職金	▲1.2	合成樹脂事業 埼玉オークラ

セグメント別の概要





キャッシュ・フロー

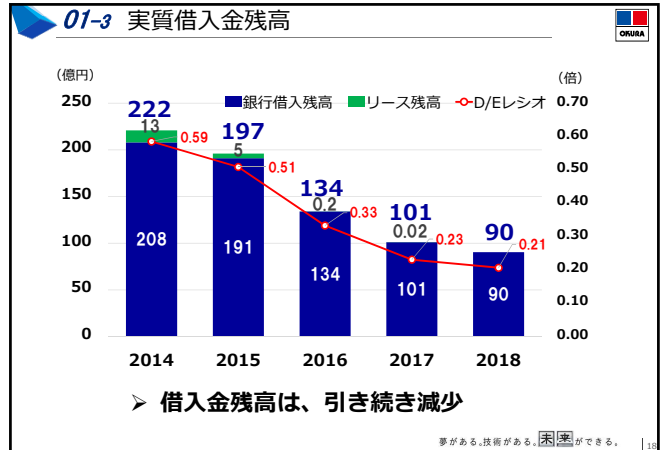
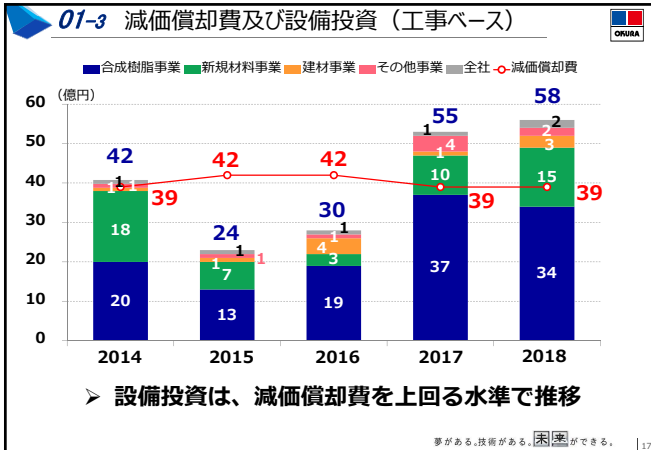
01-3 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
現金及び現金同等物 期首残高	78.3	67.3	73.8	74.7	86.4
営業活動による キャッシュ・フロー	54.4	57.5	75.5	90.9	59.5
投資活動による キャッシュ・フロー	▲59.0	▲21.3	▲7.1	▲40.2	▲52.6
財務活動による キャッシュ・フロー	▲6.6	▲30.4	▲66.9	▲39.0	▲18.8
現金及び現金同等物 期末残高	67.3	73.8	74.7	86.4	74.3

➤ 設備投資の増加に伴い、フリーキャッシュフローが減少

夢がある、技術がある、**困窮**ができる。



第六次中期経営計画について

代表取締役社長
神田 進

夢がある、技術がある、**困楽**ができる。

経営ビジョン

02-1 理念体系

経営理念 人ひとりを大切に、地域社会への貢献、お客様を第一に

ビジョン Next 10 次への10年に向けて「ありたい姿」

事業 CSRとの整合性を持った活動

CSR 事業を通じて実現

中期経営計画 **CSR基本方針**

年度事業計画 **ESG経営**

社訓 日々向上 創意工夫 同心協力

倫理綱領 行動の7原則

要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー
～ お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、事業を通じて、社会・環境価値を創出する～

夢がある、技術がある、**困楽**ができる。

02-1 理念体系

経営理念 人ひとりを大切に、地域社会への貢献、お客様を第一に

社訓 日々向上

倫理綱領 行動の7原則

行動の7原則

1. 人々の安心で快適な生活を支える製品やサービスを提供し、消費者やユーザーの信頼を獲得します。
2. 従業員のゆとりと働きやすさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、従業員の人格・個性を尊重します。
3. 公正・透明かつ自由な競争を行うと同時に、政治や行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
4. 企業情報を積極的かつ公正に開示すると同時に、広く社会とのコミュニケーションを行い、各ステークホルダーと良好な関係を構築します。
5. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および犯罪体とは、断固として対決します。
6. 環境問題への取組みは企業の存続と活動に必須の条件であることを認識し、自主的かつ積極的に行動します。
7. 海外においては、その文化や習慣を尊重し、現地の発展に貢献する経営を行います。

夢がある、技術がある、**困楽**ができる。

02-1 経営ビジョン「Next 10」

[注力する領域]

- 人々の安心で快適な生活を支える事業
食・アグリ、住空間、生活用品、ヘルスケア、医療
- 環境・エネルギー負荷を軽減する事業
サステナブル材料、減量化、リサイクル、省エネ
- 情報通信に関する事業
高速通信、フレキシブルデバイス、モビリティ

Next 10 次への10年に向けて「ありたい姿」

「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」

お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、事業を通じて、社会・環境価値を創出する

社会から信頼される企業、技術優位な企業集団

2018 2019 2020 2021 2022 2029

創立75周年

第六次中期経営計画

夢がある、技術がある、**困楽**ができる。

02-1 経営ビジョン「Next 10」

要素技術

現在

Next10

2019 2029

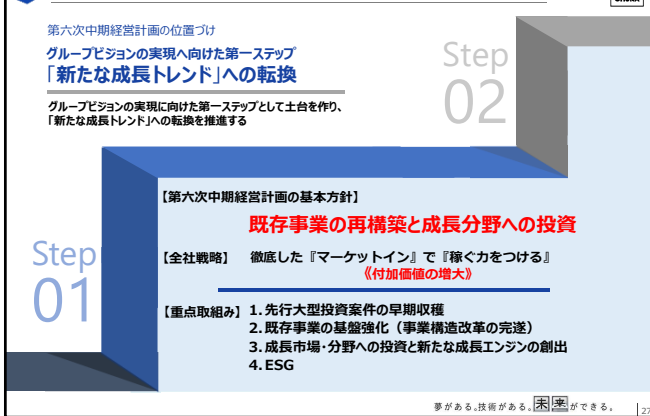
夢がある、技術がある、**困楽**ができる。

第六次中期経営計画

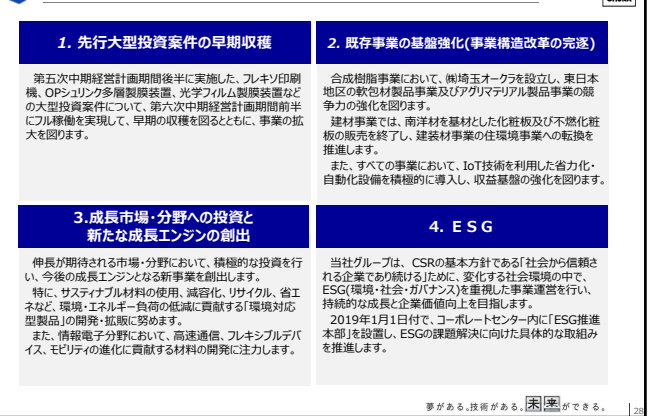
02-2 第四次・第五次中期経営計画の振り返り



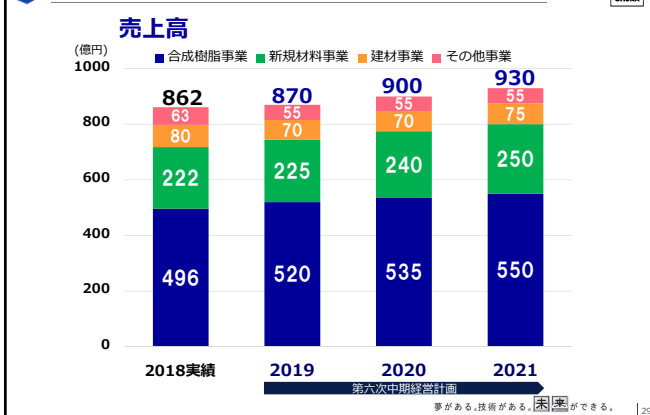
02-2 第六次中期経営計画



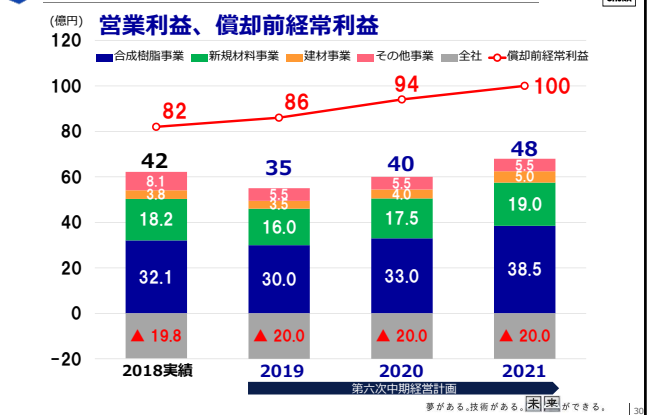
02-2 第六次中期経営計画（重点取組み）

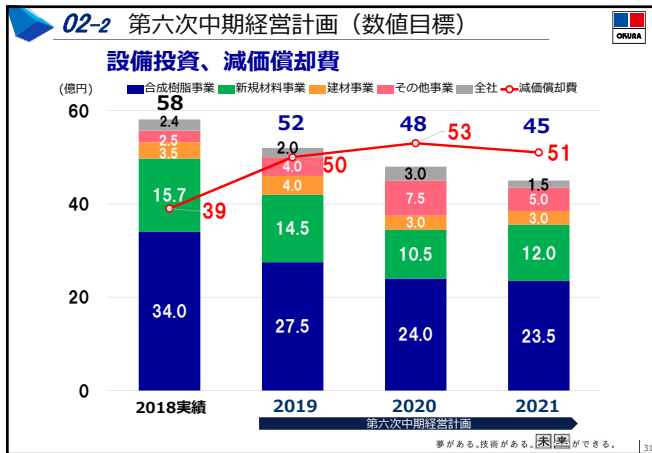


02-2 第六次中期経営計画（数値目標）



02-2 第六次中期経営計画（数値目標）





02-2 セグメント別基本方針 | 合成樹脂事業

方針

- 環境対応
- トータルパッケージの拡大
- 既存事業の競争力強化

重点取組

- 環境対応
 - 環境対応型製品の開発・強化（バイオマス・生分解原料）
 - 食品ロス、容器量削減
 - リサイクル技術の深化
- トータルパッケージの拡大
 - 開発営業組織の強化
 - 非食品分野の拡大
- 既存事業の競争力強化
 - 埼玉工場 軟包材・アグリ事業の再構築
 - 設備投資案件の早期獲得（OPシェアリング、フレキシ印刷）
 - 工場の自動化・省力化

夢がある、技術がある、**困難**ができる。

02-2 セグメント別基本方針 | 新規材料事業

方針

- フィルムの素材安定化、高耐久化の探求と薄膜化技術の確立
- 外部環境に左右されない事業基盤の強化

重点取組

- 機能材料
 - シリコンの新製品の開発と拡販
 - 接着剤製品の自動車関連製品への拡販
- 光学材料
 - 車載用途向けの開発による事業拡大
 - 大画面タッチパネル、フレキシブル表示体用の開発
- 電子材料
 - 高品質・高機能なフィルム製品の安定的生産
 - 新樹脂を原料とした光学フィルム製品の開発、早期立ち上げ

夢がある、技術がある、**困難**ができる。

02-2 セグメント別基本方針 | 建材事業

方針

事業の再構築
建材事業の「住環境事業」への転換

重点取組

- 建材部門の構造改革
 - 南洋材を基材とした合板化粧板及び不燃化粧板の販売を終了し直営型の営業に特化
- ボード部門の生産安定化と構造用ボードの本格事業化
 - ボード生産設備の予防保全の強化と計画的な設備投資
 - 構造用ボードをボード事業の柱に育てる
- 住生活・環境分野での新しい事業機会の探索
 - パーティクルボードを基材とした住環境にかかわる新製品の企画
 - 植物由来材料を使用した新たな事業の探索

夢がある、技術がある、**困難**ができる。

02-2 セグメント別基本方針 | その他事業

方針

各事業の課題を明確にし、ニーズ的確に応えることで、収益基盤を強化し、地域での存在感を高める

重点取組

- ホテル事業**
 - 期間中に開催される大型イベントに対し、サービスを充実させ、確実に集客を増加させる
- 情報処理事業**
 - システムに対するソリューション力を高め、グループ内の業務改善や生産性向上に貢献
 - 外販分野での「監査レンジ」の更なる拡販と次の柱となる製品の開発
- ハウス事業**
 - 地域ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)ビルダーとしての差別化と地位の確立
 - 不動産買取再販システム、リノベーション、IoT生活支援システム装備などの新事業を軌道に乗せる
- フレカット事業**
 - メイン加工ラインを最新鋭機に更新し、市場シェア拡大の戦略から付加価値増大へ転換を図り、生産性改善、効率化や省人化を進める
 - 省施工断熱構造パネルや設計支援建方支援事業などの新事業を立上げる

夢がある、技術がある、**困難**ができる。

02-2 セグメント別基本方針 | R&Dセンター

方針

伸長が期待される領域・分野において、新しい要素技術の獲得に取り組み、新規事業に繋がるテーマの早期事業化を目指す

注力する領域

- 環境・エネルギー
 - 環境・エネルギー負荷を低減し、持続可能な社会の実現に貢献する事業
 - 環境保全
 - 創・蓄・省エネルギー
- ライフサイエンス
 - 人々の安心で豊かな生活を支える事業
 - 医療機器
 - ヘルスケア
 - 農業
 - 食品
 - 住空間
- 情報通信
 - エレクトロニクス分野の発展に貢献し、安全で快適な暮らしを支える事業
 - 高速通信
 - フレキシブルデバイス

3つの領域にまたがる **モビリティ**

夢がある、技術がある、**困難**ができる。



02-3 CSR基本方針

「社会から信頼される企業」であり続ける

大倉工業グループは、「人ひとりを大切に」「地域社会への貢献」「お客様を第一に」を経営理念に掲げ、「日々向上」「創意工夫」「同心協力」という社訓の下、人々の暮らしに欠かせない包装材料や機能性フィルム、光学フィルムなど、またパーティクルボードを基材とした各種建材製品を社会に提供しながら、企業として成長してまいりました。

時代ごとの製品ニーズや社会の期待・要請に応えながら、これからも「社会から信頼される企業であり続ける」ことこそが、グループの持続的な成長と企業価値の向上を実現するものと考えております。

「変化する社会環境やニーズを踏まえた事業価値の創造」と「ESGを中心とする社会課題の推進」を、大倉工業グループCSR経営の重点課題と位置づけ、社会課題の解決に寄与することで持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

夢がある、技術がある、**困る**ができる。

02-3 ESGの取組み

E
環境
Environment

事業を通して環境問題に優先して取り組み、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。

- 環境配慮型製品の開発と拡販
- ロスの削減・リサイクル製品への取り組み
- CO₂、VOC排出削減への取り組み
- 省エネ設備への転換

S
社会
Social

当社が提供する製品・サービスで社会に貢献することを目指します。また従事する人ひとりを大切にし、人材の育成、労働環境の改善、多様性の尊重、地域・社会への貢献を推進します。

- 製品品質の向上、安全性の確保 (品質・環境ISOのブラッシュアップ)
- 労働安全・衛生の徹底
- ダイバーシティの推進
- 地域・社会への貢献

G
ガバナンス
Governance

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を支えるためのガバナンス強化に努めます。また効率が高く、健全で透明性が高い経営が実現できるよう、経営体制や組織体制、内部統制システムを整備し、必要な施策を実施していきます。

- コンプライアンス教育
- 改訂コーポレートガバナンスコードへの対応
- リスクマネジメント
- 情報セキュリティの強化

夢がある、技術がある、**困る**ができる。

2019年12月期の業績予想

代表取締役社長
神田 進

夢がある、技術がある、**困る**ができる。

03-1 当社を取り巻く環境

世界経済は減速へ

<世界経済のリスク要因 ⇒ 日本企業に影響顕在化>

- ・米中の貿易摩擦の影響拡大
- ・中国経済の減速
- ・英EU離脱交渉決裂
- ・EU各国のリスク内在

当社に影響する外部環境

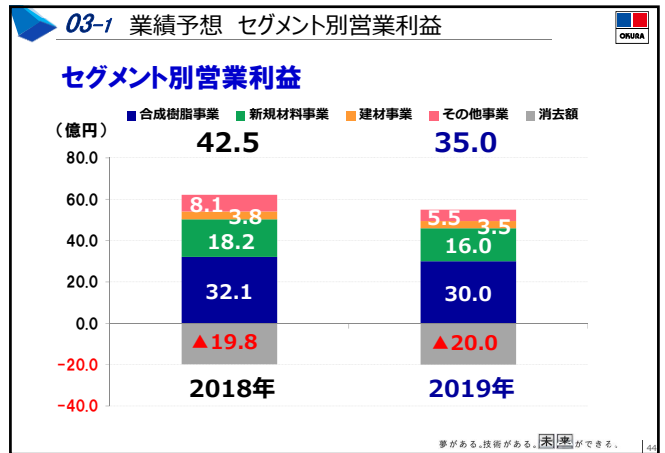
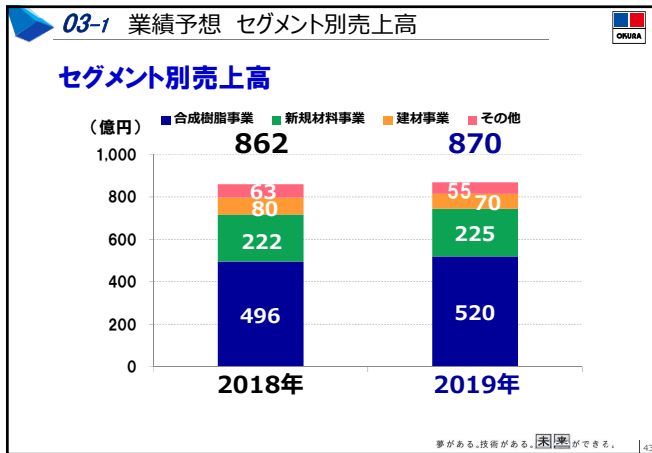
- ・スマートフォン、TV等の電子部材の減速
- ・プラスチックごみ、食品ロス問題対応への高まり
- ・食品・生活用品はインバウンド、個人消費で堅調
- ・人手不足、物流費等のコストアップ

夢がある、技術がある、**困る**ができる。

03-1 2019年業績予想

	2018年 実績	2019年 予想	前年 増減	前年 比
売上高	862.6	870.0	+7.3	+0.9%
営業利益	42.5	35.0	▲7.5	▲17.7%
経常利益	43.6	36.0	▲7.6	▲17.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.4	25.0	+0.5	+2.4%
設備投資	58.3	52.0	▲6.3	▲10.8%
減価償却費	39.0	50.0	+10.9	+28.1%
償却前経常利益	82.6	86.0	+3.3	+4.0%

夢がある、技術がある、**困る**ができる。



セグメント別の概要

03-2 合成樹脂事業

(億円)

	2018年実績	2019年予想	前年増減	前年比
売上高	496.5	520.0	+23.4	+4.7%
営業利益	32.1	30.0	▲2.1	▲6.8%
設備投資	34.0	27.5	▲6.5	▲19.3%
減価償却費	22.0	30.0	+7.9	+35.9%

重点課題

- 設備投資案件の早期収穫
- 環境対応型製品の開発・強化

夢がある、技術がある、**困**がでる。

03-2 新規材料事業

(億円)

	2018年実績	2019年予想	前年増減	前年比
売上高	222.2	225.0	+2.7	+1.3%
営業利益	18.2	16.0	▲2.2	▲12.2%
設備投資	15.7	14.5	▲1.2	▲8.1%
減価償却費	9.9	12.5	+2.6	+26.3%

重点課題

- 新樹脂を原料とした光学フィルム製品の開発、早期立ち上げ
- 自動車関連製品の拡販

夢がある、技術がある、**困**がでる。

03-2 建材事業

(億円)

	2018年実績	2019年予想	前年増減	前年比
売上高	80.6	70.0	▲10.6	▲13.2%
営業利益	3.8	3.5	▲0.3	▲8.5%
設備投資	3.5	4.0	+0.5	+14.3%
減価償却費	3.0	3.5	+0.4	+14.4%

重点課題

- 構造用ボードの本格事業化
- 建装材部門の構造改革

夢がある、技術がある、**困**がでる。

03-2 その他事業

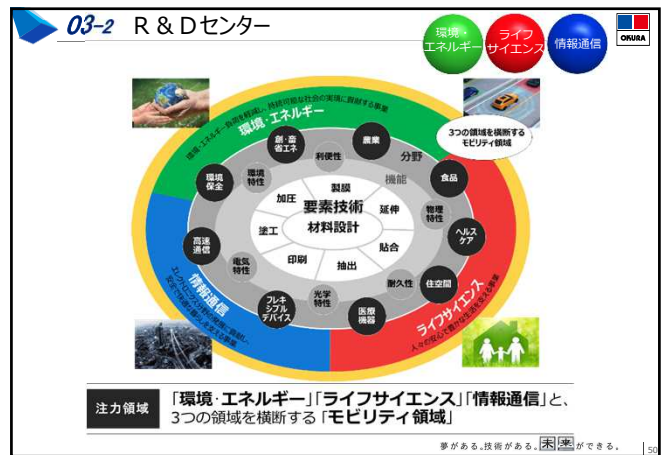
(億円)

	2018年実績	2019年予想	前年増減	前年比
売上高	63.1	55.0	▲8.1	▲12.9%
営業利益	8.1	5.5	▲2.6	▲32.1%
設備投資	2.5	4.0	+1.5	+60.0%
減価償却費	2.6	2.5	▲0.1	▲3.8%

重点課題

ホテル	インターネット・SNSを活用した情報発信
情報処理	自社新サービス新製品の早期投入
ハウス	増税後の反動減による市場縮小を見込んだリスクヘッジ策の実施
プレカット	主要加工機を更新、最適事業規模へ移行し効率化を図る

夢がある、技術がある、**困**ることができる。



03-2 2019年設備投資計画

(億円)

	2018年実績	2019年計画	主な投資案件
合成樹脂	34.0	27.5	ヘルスケア関連製品製造設備
新規材料	15.7	14.5	自動車関連製品製造設備
建材	3.5	4.0	安定生産のためのパーティクルボード関連設備の整備
その他・全社	4.9	6.0	ガバナンス強化のためのシステム投資
合計	58.3	52.0	

夢がある、技術がある、**困**ることができる。

業績予想・事業計画に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

夢がある、技術がある、**困**ることができる。

